福剣連 居合道だより

第 073 号　平成 24 年 8 月 1 日発行
発行　（社）福岡県剣道連盟居合部
http://iai.riai.info/
発行人　井手　友太
〒819-1132　糸島市有田 36 番地 - 1
Tel:092-322-0847
編集人　上田　武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田 2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

先般のこれまで経験したことのないような大雨、九州北部豪雨により県南を中心に会員の皆さんにも被害が有ったのではとお見舞い申し上げます。

自然の猛威を受ける度、人間の無力さ、環境破壊を繰り返しながら発展してきた人類の傲慢さを思い知らされます。

さて、元プロ野球投手の鈴木啓示氏は、現役時代「草魂」を座右の銘として数々の記録を打ち立て、最後の３００勝投手といわれた。引退後も公共広告機構のコマーシャルで「人生　投げたらアカン」と青少年健全育成にも一役買った。

踏まれても叩かれても諦めず這い上がり、死にものぐるいで百錬自得し、大投手となった彼の珠玉の一言。ボールは足腰で投げるイメージが最も大事である。上体や腕に頼っている限りは本物の投手ではない。どんなに良い家を建てても、下が沼地なら意味がない。

最近の投手は、上半身の細部を鍛えるような本筋ではない「枝葉」のトレーニングが主流になっている。物珍しく、面白くて楽に出来るものが多いが、幹を大きくしないと木は折れる。下半身を鍛えて幹を太くしていけば自ずと枝葉も育ってくる。物事には順序があるのだ。投手でさえ足腰が基本であり最も重要だと彼は言っている。いわんや居合においては、である。

主な出来事

7/6(金)　居合道段位審査会(6・7 段)　佐賀市

指定技（6 段 7 段共同じ）

古流 2 本（技自由）

全剣連制定居合より　3 本目　受け流し、6 本目　諸手突き、11 本目　総切り

	受審者数	合格者数	合格率
6　段	83 名	15 名	18.1%
7　段	41 名	9 名	22.0%

福岡県より 6 段に 13 名、7 段に 5 名が受審し合格者は以下の通りでした。

6 段合格者　　中島　浩、田島　誠　　以上 2 名（敬称略）

7 段合格者は残念ながら、今回の審査会では誕生しませんでした。

次回のチャレンジに期待します。

7/7,8(土、日)　居合道地区講習会　　佐賀市

平成 24 年度の地区講習会が本年は佐賀市で開催され、福岡県より 70 名が参加した。全剣連の先生方も新体制となり、全剣連居合道の解説には河口俊彦先生、実技演武に山崎　誉先生が担当された。内容は全く例年と変更された所は無いものの表現が変わると何かしら新鮮さを感じるのは私だけか？全体講習の後、一日目、段ごとに分かれての講習会、二日目同じく段ごとの講習会の後、グループ毎に講習会仕上げの一斉演武が行われた。最後に流派ごとの古流研究会が実施され無事二日間の講習会を終了した。

審査会・講習会スナップ

審査委員の前で演武する中島先生

演武を終えほっとするひと時

全県連居合道を解説する河口範士山崎範士

講習会成果を披露するグループ毎の演武

8・9 月の予定

8/5(日)	福岡県居合道稽古会	福岡武道館
9/8,9(土,日)	第 39 回居合道中央講習会	京都市
9/17(月)	福岡県居合道審査会（級・初～五段）	福岡武道館
9/23(日)	福岡県居合道講習会（伝達講習会）	ｱｸｼｵﾝ福岡